

ハタハタ

日本海海域

Arctoscopus japonicus

地方名

かみなりうお



生態

- ①寿命：約5歳。
- ②成熟：オス1歳（全長14cm）以上。
メス2歳（全長21cm）以上。
- ③産卵期：11月下旬～翌年1月。
- ④産卵場：水深2～10mのホンダワラ類の藻場。
- ⑤分布：北海道沿岸、秋田県男鹿半島を中心とした日本海沿岸、朝鮮半島東部沿岸。
- ⑥生態：水深150～400mの砂泥域に生息。
食性は端脚類、橈脚類、オキアミ類、イカ類。

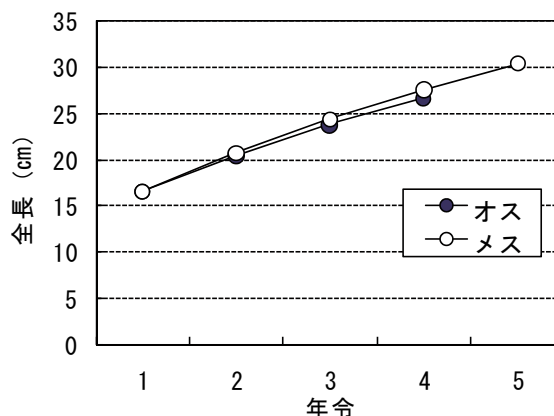


図 日本海海域におけるハタハタの成長

主な漁業

定置網、さし網、底びき網で漁獲。主漁期は11月下旬～12月。1歳魚から漁獲される。

漁獲と資源の動向

昭和40年～50年には1,000トン台の漁獲があったが、52年以降低迷した。平成12年以降増減を繰り返し、平成20年は日本海で1,362トンと33年ぶりに1,000トンを超えた。平成25年は平成24年を上回り、796トンの漁獲であった。

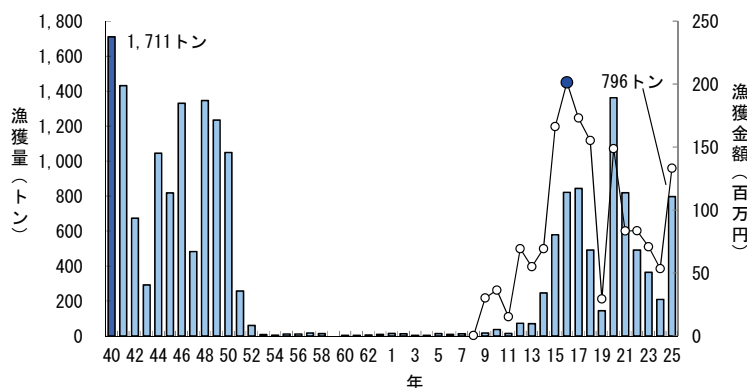
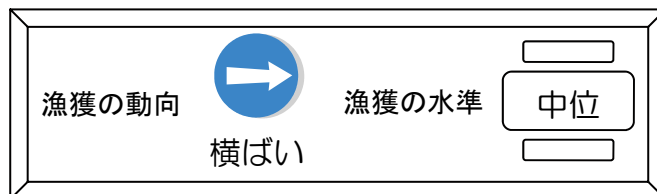


図 青森県日本海海域におけるハタハタの漁獲量の推移
※平成19年までは水産総合研究所調べ、平成20年以降は青森県海面漁業に関する調査結果書



資源を上手に利用するために

- 北部日本海海域ハタハタ資源管理協定（平成11年4月締結、21年4月更新）
 - ・底びき網漁業において、全長15cm未満個体の採捕禁止が定められた。
- 日本海北部マガレイ、ハタハタ資源回復計画（平成15年7月）
- ☆上記の取り組みを継続する必要がある。

トピックス

- ・産卵後のハタハタの回遊生態を明らかにするため、平成25年に産卵後親魚2,000尾の標識放流を実施した。